

依光晃一郎県政報告 『こうち県議会だより』まとめ

平成27年2月定例会～平成29年2月定例会

平成29年10月1日発行

依光晃一郎後援会

〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目446-1

TEL 0887-52-9222 FAX 0887-53-2074

URL <http://yorimitsu.gr.jp/>

E-mail info@yorimitsu.gr.jp

ご意見・ご要望をお気軽に聞かせてください

高知県議会ホームページで録画中継がご覧になれます！

高知県議会

検索

www.pref.kochi.lg.jp/~gikai/



Facebook
「依光晃一郎」
で、配信中！



議会質問の全文を、後援会HPで見ることができます。是非ご覧ください。
<http://yorimitsu.gr.jp/>



平成23年6月定例会～平成26年9月定例会
高知県議会HPよりダウンロードできます。
<http://gikai.pref.kochi.lg.jp/>

平成29年10月現在で、特に取り組んでいることは、「龍河洞の活性化」と、「土佐打刃物の後継者育成」についてです。龍河洞の活性化については、3年前に調査した「龍河洞の入者を増やすための調査研究」を。また土佐打刃物の後継者育成に関しては、昨年調査した「土佐打刃物製造業の後継者育成に向けた「鍛冶屋の学校」創設プラン」をベースに、議論を深めています。龍河洞の活性化については、来年度の高知県予算を活用すべく、活動しております。この2つの調査書も、後援会HPで見ることができます。是非ご覧ください。

香美市調査報告書

<http://yorimitsu.gr.jp/hokoku/chosa.html>

平成29年2月定例会 一般質問(3月7日)

無駄遣いのない公共施設の 建設と管理計画を。

問 国が全国の自治体に公共施設等総合管理計画の策定を要請しており、平成28年度中に県内の全市町村で策定される見込みだ。公共施設の規模縮小に向かわざるを得ない難しい課題に対して、議論のたたき台となる計画を住民や議員が見ることができるよう、県のホームページ上で公表してはどうか。

答 総務部長 公共施設等総合管理計画は、公共施設の長期にわたる方針を定めたものであるため、広く住民に公開することが適当と考えている。各市町村には計画策定後に公表するように助言している。

もっと公共施設の有効活用を。

問 企業が理想のシェアオフィスを設計し、行政が整備する仕組みができれば、企業にとっては投資が、行政にとってはリスクが少なくなる。使用目的を失った公共施設の有効活用を進める取組みについて聞く。

答 総務部長 特定企業の提案を踏まえて県費で改修することになるので、公共性や公益性、改修費用の回収、企業撤退のリスクなどの問題があると思っている。今後は使用目的を失った公共施設の情報を積極的に公表する予定としており、その際に有効活用の提案をいただけるような工夫を考えたい。

平成28年9月定例会 一般質問(10月6日)

食肉センターの存続と 新たな戦略を。

問 高知県広域食肉センターの存廃論議がなされているが、産業振興計画の長期的展望に立ち、食肉センターを存続させる方向で、新たな体制での運営を図るべきだと考えるが、見解を聞く。

答 知事 食肉センターは本県の畜産振興に必要な不可欠な施設であり、県内に存続させることが必要だと考えている。県としても、新しい食肉センターの整備に向け、と畜機能はもとより加工・流通・販売までを一貫して効率的に行うことができる運営体制の構築や、HACCPへの対応なども含めて主体的に検討を進めていきたい。

都市計画の規制緩和を。

問 市町の政策に沿った移住促進、南海トラフ地震を想定した高台移転、企業誘致など、時代に合わせた新たな規制緩和が必要だと思うが、所見を聞く。

答 土木部長 市街化調整区域の開発許可については、空き家の賃貸や津波浸水予測区域からの転居など、社会情勢の変化に応じた規制緩和を行っており、さらに一歩進んだ抜本的な規制緩和も検討している。また、市町村が開発許可の事務を行うことにより、地域の特色を生かした土地利用や事務の迅速化が可能となるため、市長が権限を受けることを表明した南国市に続いて、香美市やいの町にも引き続き積極的に働きかけていく。

中山間地域での健康維持に向けた「健康パスポート」の活用について。

問 来年度からスタートさせる高知家健康パスポート事業では、健康づくりに取り組んだ県民にポイントが付与されることとなっているが、スポーツ施設などの健康づくり施設が少ない中山間地域において、農作業でもポイントが付与できるような仕組み、また、そのポイントが病院や診療所までの交通費割引券などと交換できる仕組みづくりができないか。

答 健康政策部長 市町村には、健康パスポートをプラットフォームとして、地域の実情に応じた健康づくりに取り組んでいたきたい。御提案の内容は、市町村の独自事業として検討していただけるのではないかと考える。

食肉センターの老朽化問題について。

問 土佐あかうしの食肉処理は、広域の市町村が集まって運営する高知県広域食肉センターで行っているが、施設の老朽化が著しい。今後、品質と価格で県外商品と戦うためには、高度な衛生管理と、関係市町村のスムーズな意思決定が必要だと考える。

答 農業振興部長 関係市町村による検討委員会が2月に立ち上がり、県もオブザーバーとして議論している。今後は、この検討会の結果を踏まえて、適切に対応していきたい。

「高知家のスター」戦略について。

問 どのような思いを込め、どのような成果を期待して施策を実施しているのか。

答 知事 本県の最大の強みである人の魅力を前面に押し出した新しいプロモーションを展開しており、高知家の認知度引き上げを目指すとともに、各分野のセールス戦略と連動させることで地産外商、観光振興、移住促進のそれぞれの成果につなげたい。地域で様々な活動に取り組みされている方々が、スターとしてこのプロモーションに参加し、それぞれの思いを発信していただくことで、県民参加の輪が広がり、改めて高知の人、物、事について、そのよさが発掘、再発見、再認識される契機となり得ると思う。

永瀬ダムの堆積土砂処理について。

問 どのような対応を考えているか。また、堆積土砂処理の場所選定に関する調査を行う考えはないか。

答 土木部長 これまで貯水池の上流域に設置した貯砂ダムや河川に堆積した土砂を掘削し、その土砂を有用残土として売却するなどの処理を行ってきた。現状の処理方法では、今後も堆積する土砂は増えていくと考えている。昨年度から土砂処理場の選定に関する調査を行っており、箇所及び処理の考え方も含め検討していく。

地域経済分析システムを活用せよ。

問 地域経済分析システムを活用して多くの方から知恵を集める仕組みについて考えはないか。

答 総務部長 現時点の情報では、国が地域経済にかかわる様々なビッグデータを収集し、かつグラフや地図等で分かりやすく見える化するシステムであり、地方版の総合戦略を策定する上で、県はもとより市町村にとっても有益だと受け止めている。県内大学と連携した分析の可能性などについても検討していきたい。

中山間地域の空き家活用策を進めよ。

問 伝統的な建造物の改修で、地域の文化を残すという意味でも意義がある中山間地域の空き家活用への市町村の取組状況はどうか。

答 土木部長 県では、市町村が民間の空き家を借り上げ、賃貸住宅として再生、活用する場合に、リフォーム工事費の一部を補助している。本年2月末現在で15市町村から合計56件の申請があり、そのうち既に3件の移住者支援住宅で3世帯9人の方々が入居しており、2件のお試し住宅で移住を希望する2世帯4人の方々が生活を始めている。事業の活用を市町村に積極的に働きかけ、空き家の再生、活用を促進していく。

高知県議会 役職(1年間)

平成24年4月 総務委員会 副委員長
平成27年4月 危機管理文化厚生委員会 委員長
平成28年4月 総務委員会 副委員長
平成29年4月 産業振興土木委員会 委員長

自民党高知県連 役職

青年局長 兼 学生部長(平成27年6月21日～)

自民党青年局(全国) 役職

中央常任委員会 副議長
(平成29年9月1日～)

(全国の都道府県連青年組織の代表者で構成し、青年局の活動や運営について審議決定する機関)

<http://youth.jimin.jp/>